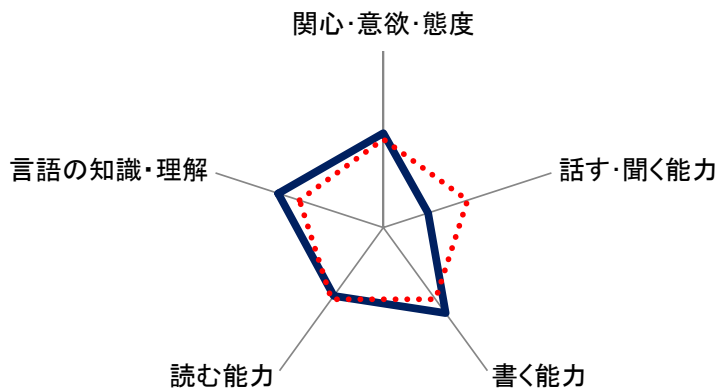


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

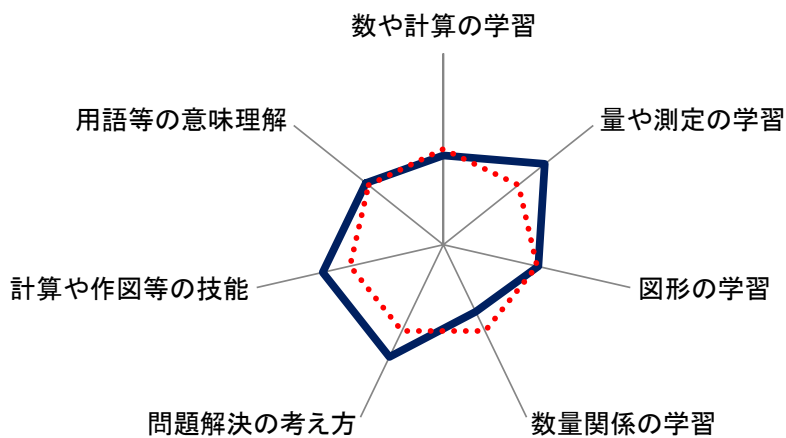
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

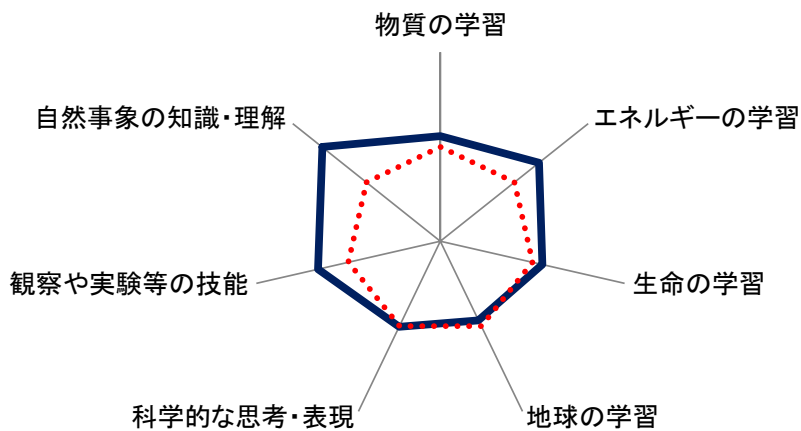
— 町平均
..... 全国平均



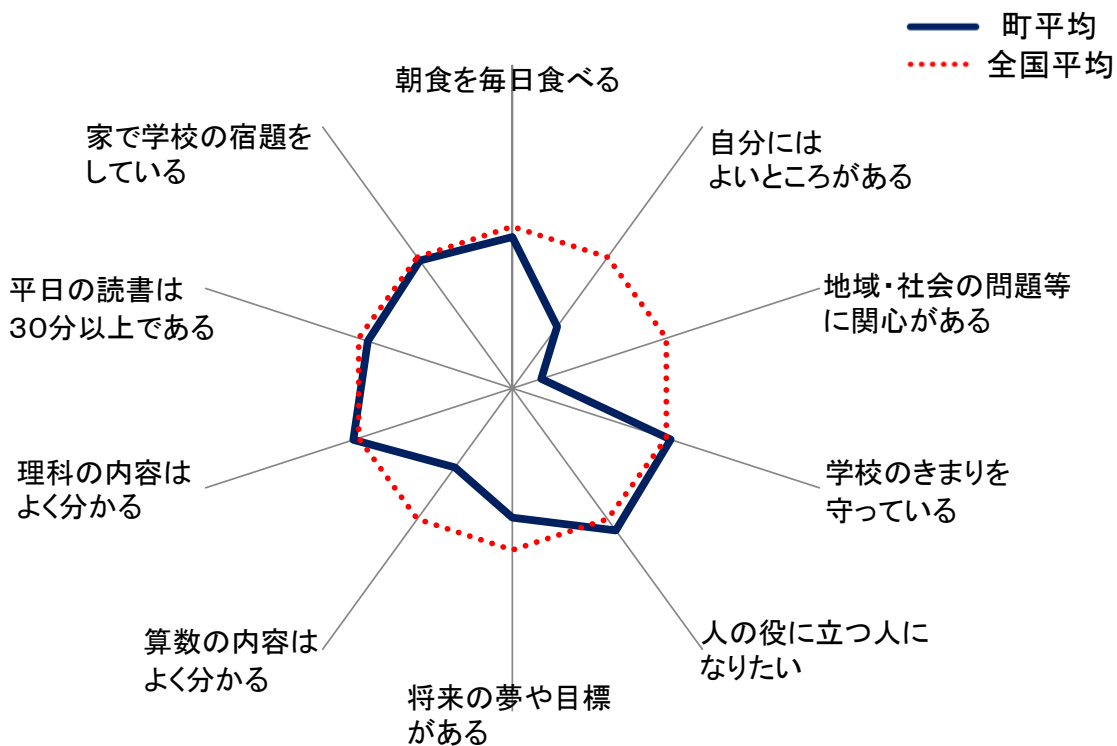
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、理科は7項目中6項目が全国平均を上回っている。国語は「言語の知識・理解」や「書く能力」の項目が良好であるのに対し、「話す・聞く能力」の項目が全国平均を大きく下回っている。算数は「量や測定の学習」、「問題解決の考え方」、「計算や作図等の技能」の各項目が良好であるのに対し、「数量関係の学習」に課題が見られる。今後は、知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「学校のきまりを守っている」、「人の役に立つ人になりたい」、「理科の内容はよく分かる」の各項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。理科の授業理解と教科に関する調査の結果から、理科の学習の充実がうかがえる。ただし、「自分にはよいところがある」、「地域・社会の問題等に関心がある」、「将来の夢や目標がある」の各項目は全国平均を大きく下回っているなど、中学校に比べ、自尊心や規範意識、基本的な生活習慣に関する意識が低い傾向があるので、進んで自分の生活をよりよくしていこうとする児童の育成に、学校と家庭、地域が連携して取り組むことが望まれる。